

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」松本校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			個別支援を基本に、集団支援を適宜とりいれながら、児童が安全に活動できるように工夫しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	出入口に数段の階段がありますが、昇降が困難な利用者様には職員がサポートするなどの工夫をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日朝礼・夕礼にて業務改善を図っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価表を活用し、意向を把握し、業務改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社 HP にて公開していきます。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	保護者・社内の 2 者評価をおこなっており、第三者評価の実施を検討中です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			1 カ月の初任者研修を実施し、その後もすべての指導員に継続的に研修を行っております。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			計画期間ごとにアセスメントをとった上で個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一したアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的に子どもの事例を共有・議論する検討会を開催しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			可能な範囲で効果的に楽しく学べる指導を心がけています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した個別支援計画を策定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			福祉サービス計画をもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を作成しています。

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を心がけています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			朝・夕礼を毎日実施し、職員間の情報共有を大切にしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援記録をとり、見直すことで、お子様の成長や生活環境の変化に合わせて、指導内容や方法を更新しています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを行い、計画の見直しを検討しています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			福祉サービス計画をもとに、学校や他事業所との併用を加味した個別支援計画を策定しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者をはじめ、その子供の支援に携わっている指導員が協力して可能な限り会議に参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校担任の先生や特別支援コーディネーターを窓口の情報共有を行っています。支援者会議を通して学校での支援方法に関するご提案を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		必要に応じて、病院や相談支援事業所および関連機関と連携します。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援会議を通して総理解に努めています。必要に応じて連絡ノートを用いて情報提供しています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		適宜、直接情報共有を行うほか、保護者様や支援会議を通して相互理解に努めています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			発達支援研究所など、内外部の専門機関と連携し助言をいただいています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	限られた指導時間の中で実施が難しいことから、交流する機会はありません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置付けた上で機会を設けます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		機会があれば、松本圏域自立支援協議会への参加を計画します。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終業後に、毎回、保護者様へのフィードバックの時間を設けています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			支援後のフィードバック時に、有効的な対応方法がある場合には、指導員よりアドバイスをしています。グループ相談会などの参加を通してきっかけづくりをしています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、丁寧に説明するとともに、事業所内に重要書類を掲示しています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に支援後のフィードバック時に相談に応じています。座談会等を開催するなどして、保護者同士の交流を支援しています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会等を開催するなどして、保護者同士の交流・連携を支援しています。個別なので開催を希望されない方もおります。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			事業所に苦情受付者・解決責任者を選任する等、苦情受付体制を整えるとともに、専用のお問合せ窓口電話を設置しています。頂いた苦情に対しては、社内フローに基づき、迅速かつ適切に対応しています。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			教室内に活動内容やイベントの案内、おたより等を定期的に掲示しています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報に記載された書類は、第三者の目が届きにくいよう拝領し、鍵付きのキャビネットに保管しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			話し方やテンポ、視覚的配慮など、相手にとって理解しやすい伝え方を試みています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	希望があれば、教室内の見学や保護者様の了解を得た上で指導の様子を公開することも視野に入れています（近年は新型コロナウイルス感染症の影響で控えています）。
	非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難・救出・連絡等その他必要な訓練や確認を月1回実施しています。
㉜		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			マニュアル策定や伝達研修を通して、虐待防止に努めています。

④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、対象児童には、同意書の記入や個別支援計画の特記事項に記載します。
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		面談時にお子様のアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			些細な事でも、ヒヤリハット報告を作成するよう促し、職員間で共有した上で保管しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」松本校

保護者等数（児童数）：57 回収数：55 割合：96.5%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	48	6	1	・部屋が広すぎると落ち着かないことがあるのでちょうどよいです。→ありがとうございます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	52	3	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	24	19	12	・仕方ないのですが、外階段でベビーカーが不便でした。 →ご不便の際には、職員が補助させていただきます。今後の参考に致します。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	53	2	0	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	54	1	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12	30	13	・なくて大丈夫。 →個別対応ですので、無理に交流することはありません。ご安心下さい。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	55	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	53	2	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	51	3	1	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	38	15	2	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	40	15	0	・特に何も苦情はないので満足しています。 →おかげ様でありありがとうございます。 ・わからない。 →何かあれば対応致します。 ・まだ経験がないため。 →適切な対応を心がけています。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	54	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	41	14	0	

	⑭	個人情報に十分注意しているか	54	1	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	49	6	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	38	17	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	48	7	0	<p>・行くことに抵抗なく、指導員の先生と仲良くしているようです。</p> <p>→良い関係性を築くよう努力します。</p> <p>・とても楽しみにしています。</p> <p>→何よりでございます。</p> <p>・気持ちに波がある。</p> <p>→感情なので自然なことです。安定するようにサポート致します。</p> <p>・予定表に「きらり」とあるのを見て「きらり～！」と言って楽しみにしています。</p> <p>→指導員一同大変うれしいことです。</p>
	⑱	事業所の支援に満足しているか	55	0	0	<p>・いつも指導ありがとうございます。</p> <p>→いつも送迎ありがとうございます。</p> <p>・とても楽しみにしています。</p> <p>→楽しみに通所してください。</p> <p>・自宅や学校では行えない指導、学びを受けることができ、娘の大きな刺激になっています。楽しみながらできる工夫をしていただきありがとうございます。</p> <p>→楽しく通える場所にこれからもなれるよう工夫を致します。</p> <p>・子供のその日の調子に合わせて支援をしていただいています。</p> <p>→個別支援の最大の特徴です。これからも宜しくお願い致します。</p>

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。